

解答

問一 藤づるを切って定次をがけ下に落とした。

問二 父が滝から落ちたことに無関心な周囲の流刑人たちの態度から、この山に自分たちの味方がいない気がしたため、自分が一人前になって父を支えなければならぬと思ったから。

問三 右門と治助 今の山での気楽な生活を守るために、定次のやきものづくりを邪魔をしようという意図。

定次 右門と治助にじやまをされても、絶対に負けず、発見した石は陶石だと主張しようという意図。

問四 権左衛門が治助自身の「火山地方には長石が多い」という主張をふまえた上で、九谷が火山脈にある谷であることを述べ、今回発見した石がやきものの石である可能性が高いことを論理的に指摘したから。

問五 右門は右手を見て好きな絵の道で生きようとしなかったことを後悔する一方で、自分とは違い、自らの技術を活かして生きる定次のことを憎まずにはいられない気持ち。

問一 多くの人は、魚をエサとするブラックバスを問題視するが、ワカサギやアユのエサとなる、ミジンコや水生昆虫、付着藻類などを軽視しているため。

問二 「一〇〇万匹の天然アユを呼び戻す」ことは、川ごとに生息できるアユの数が異なるため、川の中の生態系を乱すという問題を引き起こし、さらに陸上の生態系にまで影響を与える可能性があるから。

問三 利益を得るためにワカサギやアユを川に放流し、その放流による生態系への影響を考慮しない考え方。

- (1) 本位
(2) 盟約
(3) 刻限
(4) 夕映（え）
(5) 至急